

はっぴいだより

2021年 7月

セミの声も聞こえ始め、いよいよ暑い夏が近づいてきました。今年はどのくらい暑くなるのでしょうか？(汗)

子どもはどんな時でも外遊びが大好き！！でも、親にとっては辛いことも・・・暑い時は無理せず、親のペースで外遊びを切りあげて、涼しい場所での遊びに変えてあげるのもいいのかもしれませんね。

新型コロナウイルス対策による変更とお願い



サークルについて

～状況により変更をお願いすることをご了承ください～

☆ベビーサークル(予約制)

10:00～14:00 5組限定で、うたあそび・ベビーマッサージ・自由あそびを行います。

☆リトル・キッズサークル(予約制)

10:00～14:00 6組限定で、うたあそび・製作・自由あそびを行います。

☆ソーシャルディスタンスを守りながらティータイムも行いたいと思います。

(まだ、こちらからの飲食物の提供は控えさせていただきます。)

☆サロン(来園時間・帰園時間は自由です)(予約制)/育児相談(面談・電話・リモート)(予約制)

10:00～12:00 サロン 5組限定で年齢制限・ティータイムなしで自由にあそびます。

13:00～14:00 育児相談(面談・電話・リモート)

☆来園前の検温・手洗い・消毒・マスクの着用等の感染対策のご協力をお願いいたします。

7月予定表

2021年度

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
			1日 キッズサークル	2日 ベビーサークル
5日 ベビーサークル	6日 リトルサークル	7日 高千帆児童館	8日 キッズサークル	9日 ベビーサークル
12日 ベビーサークル	13日 リトルサークル	14日 AM サロン PM 育児相談	15日 キッズサークル	16日 ベビーサークル
19日 ベビーサークル	20日 リトルサークル	21日 キッズサークル	22日 祝日	23日 祝日
26日 ベビーサークル	27日 リトルサークル	28日 AM サロン PM 育児相談	29日 キッズサークル	30日 ベビーサークル

*ベビー(3ヶ月～1才児)・・・バスタオル・おむつ・飲み物(離乳食・お母さんのお昼ごはん持参 ok!)など持参

*リトル(1～2才児)・キッズ(2～4才児)・・・お茶・お昼ごはんを持参(お母さんの分も)

☀️水遊びのお知らせ☀️



7月8日から8月12日頃までのリトル・キッズのサークルで

プールあそび、水あそびをします。各自で、水着・タオルなど必需品を持参してください。

また、**オムツの取れてない方は、水あそび用の紙パンツ**を使用してくださいね。

リトルサークルの方でまだ水あそびをされない方は、お部屋で過ごされて、大丈夫です。

10時～45分ぐらいまで**水遊び・プール遊び**の時間になります。



保育園の離乳食のぞいてみよう！



★ とり・ささみメニュー 特集★

メニュー

- ・なすととりのトロトロ煮
- ・すまし汁
- ・オレンジ（じょうろ、スプーンで飲みます）
- ・7倍がゆ



9ヶ月～食べることが大好き！

- ・ささみと野菜の納豆和え
- ・野菜スープ
- ・みかん（小さく切っています）
- ・7倍がゆ

オンライン通話♡始めました♡

～予約が必要になります～

数名同時に、お互いの顔を見ながら話ができます。

まずは、下記のアドレスにお名前を入れたメールを送ってください。

himeihoikuen6@gmail.com

送信できない時は、お電話くださいね！

お待ちしております

オンラインでの相談は「**育児相談日**」に受けています。時間外は応相談です。



ちょっと豆知識！

「泣く」→「受けとめてもらえる」
だから、子どもたちは自立に向かえる

「泣く」ことは、強い感情表現

悲しさや悔しさ、うれしさなどの強い感情が心のなかからあふれたときに、子どもにとって「泣く」ことは、強い感情を外に放出し、気持ちを落ち着かせる働きがあるのです。

泣きたいときに泣ける環境があるからこそ

安心・信頼できる人に対して、大声で泣いてわかってもらい、なだめてもらうことにより、子どもは成長するうえで欠かせない、安心・安全の感覚を得ることができます。また、泣いて感情を放出し、それを受けとめ、和らげてもらう経験から、少しずつ感情の高ぶりを収める方法を学びます。心の動かしままに「泣く」「泣ける」環境があることは、子どもの健全な発達に欠かせません。

不安になつたらいつでも戻れる安全基地

幼い子どもが泣いて訴えるのは、相手を頼りにし、相手と結びついていたいという依存の気持ちから来るものであり、愛着行動です。泣いてもいつも受けとめてもらえる人がいることは、不安になつたいつでも戻れる「安全基地」ができたということです。安全基地があることで、子どもは外に自分の世界を広げていけるのです。

感情表現のしかたは子どもの個性

「泣く」という表現にも個人差があります。過激で傷つきやすく、ちょっとしたことで泣く子もいれば、少しのことでは泣かない、おどろいた子や我慢強い子もいます。どの子の「泣き」にも一つひとつ理由があります。涙が出なくても心なかなは泣いている場合もあるでしょう。パターンにとらわれず、そのときどきの子どもの内面に向けてください。

発達とともにコントロールできるように

子どもは幼いときはストレートに感情を表し、大声で泣きます。相手や周りの様子を見ながら、泣くのを我慢するといったコントロールが芽生えてくるのは、一般には4歳頃から。年齢や発達（一人ひとりの個性を見ながらその子の「今」と「泣き」を受けとめ、寄り添い、自立へ向けて援助をしていきたいと思います）



子どもは、成長と共に自分の中の感情の伝え方を覚えていきます。泣いて伝えるのは数年です。でもあまりに泣かれると逃げ出してしまったり、たまには、背を向けて深呼吸してみたり？として、涙山抱きしめて、涙山受けとめてあげてください。愛が伝わりやすい♡

ご不自由をおかけして申し訳ありませんが、皆様の健康のため宜しくお願い致します。

なお、電話での対応は月曜日～金曜日の10:00～14:30でおこなっていますので気軽におかけくださいね。

ホームページQRコード



2021 月 7 月 1 日

756-0055

山陽小野田市旦西 7301

姫井保育園子育て支援センター

Tel/fax:0836-83-6278